



ききみみずきん

2019年冬号 Vol.30

<発行・編集>喜多方市立図書館
 指定管理者 株式会社 図書館流通センター
 〒966-0822 喜多方市字柳原7503-1
 TEL:0241-22-1855



●<http://tosyokan.city.kitakata.fukushima.jp/>

1月～3月の図書館スケジュール

開館時間 平日 午前9:30～午後7:00 土日祝日 午前9:30～午後5:30

■ 休館日

1月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4 福
12/28(土)～年末年始休館						
5 ド	6	7	8	9	10	11
12 ド	13	14	15	16 ちB	17	18 B
19	20	21	22	23	24	25 □
26 ドB	27	28	29	30	31	

2月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2 ド	3	4	5	6	7	8
9 ド	10	11 ★	12	13	14	15 B
16	17	18	19	20 ちB	21	22 🐞
23 ドB	24	25	26	27	28	29 □

3月						
日	月	火	水	木	金	土
1 ス	2	3	4	5	6	7
8 ド	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19 ちB	20	21 □B
22 ド	23	24	25	26	27	28
29 B	30	31				

※予定が変更になることもございます。ご了承ください。

- ド おはなしドライブ (午前11:00～11:30)
- ス すずの音会スペシャル (午前11:00～11:50)
- ち ちっちゃなおはなしかい (午前11:00～11:20)
- ユニットおりがみ教室 (午前10:00～11:30)
- 福 本の福袋 (なくなり次第終了)

B ブックスタート

- ・第3木曜日 (午前10:30～11:00)
- ・第3土曜日 (午前10:00～10:30)
- ・最終日曜日 (午前10:00～10:30)
- ★ ボードゲーム (午後1:00～4:00)
- 🐞 郷土講座 (午後1:30～3:00)

年末年始休館のお知らせ

図書館は令和元年12月28日(土)～令和2年1月3日(金)までお休みです。



図書館からの お知らせ

本の福袋

日にち：令和2年1月4日(土)
 時間：午前9時30分～終日
 ※福袋が無くなり次第終了
 場所：喜多方市立図書館1階 カウンター前
 その他：貸出期間は2週間です。
 1つの福袋で2冊分の貸出となります。



福袋の中には、さまざまなテーマに合わせて
 選んだ本2冊とオマケが入っています。
 大人用は限定15個、子供用は限定10個です。
 無くなり次第終了となります。

ユニット折り紙教室

日にち：令和2年1月25日(土)
 2月29日(土)
 3月21日(土)

時間：午前10時～11時30分
 場所：喜多方市立図書館2階 第二閲覧室
 参加費：100円(お申込み不要)



毎月最終土曜日開催の、ユニット折り紙教室。
 趣味の開拓や、交流の場としても好評です。
 初参加でも先生が優しく教えてくださいます。
 予約は不要です。お気軽にご参加ください。



★ブックスタートのご案内★

喜多方市では、読み聞かせ体験とともに赤ちゃんに絵本1冊をプレゼントしています。

ブックスタートとは？

ブックスタートは、赤ちゃんに絵本をひらく楽しい「体験」と「絵本」をセットでプレゼントする活動です。

抱っこぬくもりの中で絵本を読んでもらう心地よさや嬉しさを「すべての赤ちゃん」に届けます。

喜多方市では？

月に3回喜多方市立図書館1階えほんのへやで行っています。
山都高郷地区は4か月児健康診査のときに山都保健センターで行っています。
30分程度お時間がかかります。



対象：4か月児健康診査の対象となる喜多方市の赤ちゃんとその保護者
必要なもの：喜多方市から送付された絵本引換券、母子健康手帳、（お持ちの方は）受講券
内容：赤ちゃんへの絵本読み聞かせ体験。
ブックスタートパックと絵本1冊をプレゼント。
予約：山都高郷地区以外の方は予約が必要です。
喜多方市立図書館までお電話ください（0241-22-1855）
喜多方市保健センターの4か月児健康診査でも予約受付しています。

令和2年1月～3月までの喜多方市立図書館での開催日

1月16日（木）10：30～11：00
1月18日（土）10：00～10：30
1月26日（日）10：00～10：30
2月15日（土）10：00～10：30
2月20日（木）10：30～11：00
2月23日（日）10：00～10：30
3月19日（木）10：30～11：00
3月21日（土）10：00～10：30
3月29日（日）10：00～10：30

ブックスタートパック



ブックスタートのようす



図書館ボランティアを募集しています！

喜多方市立図書館では、利用者にとってより利用しやすく、より身近な図書館づくりを目指して、図書館の活動を支援いただけるボランティアを募集しています。

★資料配架ボランティア

喜多方市立図書館利用者が利用しやすいよう、返却された図書を書架に戻す作業や、書架の乱れを直す作業を行ないます。

★環境美化ボランティア

喜多方市立図書館敷地内の清掃や花壇の整備、冬季間の除雪作業を行います。

応募資格：中学生以上の方ならどなたでも お問い合わせ：0241-22-1855

おすすめ図書 ラインナップ！



毎週木曜日に新しい本が入ります。
どうぞお楽しみに！

『ぼけますから、 よろしくお願いします。』

信友 直子／著
新潮社
(916 ノ)



もし自分の親が認知症になってしまったら……。近年取り上げられる認知症や老老介護などについて、同名ドキュメンタリー映画を監督・撮影した著者が、映画では描ききれなかった認知症介護のリアルを綴っています。認知症がどう進んでいくのか、認知症の家族を持つということはどういうことなのか、考えさせられる1冊となっています。

【一般コーナー】にあります。

『魔法使いの教科書』

オーブリー・シャーマン／著
龍 和子／訳
原書房
(387 シ)



魅惑的な物語や神話、不思議な話の中心に必ずいる魔法使い。今も昔も私たちを魅了し続ける魔法使いに皆さん一度は憧れたのではないのでしょうか。そんな魔法使いについて、あの有名なハリー・ポッターから「アーサー王物語」のマーリンや、現代のゲーム・アニメにいたるまでを網羅し、イラストとともにわかりやすく紹介されています。

【一般コーナー】にあります。

『文豪どうかしてる逸話集』

進士 素丸／著
KADOKAWA
(910 シ)



素晴らしい作品を生んだ文豪が必ずしも素晴らしいとは限らない。あの「走れメロス」を書いた太宰治は実は友人を見捨てていた！？そんな明治時代から昭和までに活躍した文豪たちの知られざる素顔とその代表作を、かわいくもおかしな選りすぐりのエピソードとともに紹介されています。

【一般コーナー】にあります。

『私、失敗ばかりなので』

内山 聖子／著
新潮社
(159 ウ)



失敗してもその経験があとで効く！人気ドラマ「ドクターX」のプロデューサーが、体当たりの失敗とムダの連続で身につけた仕事のルールが紹介されています。仕事で「やらかした…」と、落ち込むあなたに読んでほしい1冊。

【一般コーナー】にあります。



こちらもおすすめ！



*『はじめよう!ブックコミュニケーション』(019 ム)
村中 李衣ほか／著 金子書房

*『はぐれくん、おおきなマルにであう』(726 シ)
シエル・シルヴァスタイン／作 あすなる書房

*『作っておける前菜、ほうっておけるメイン』(596 ワ)
若山 曜子／著 主婦と生活社

*『2030年の世界地図帳』(304 オ)
落合 陽一／著 SBクリエイティブ

*『魔法使いと最後の事件』(Fヒ)
東川 篤哉／著 文藝春秋

*『勿忘草の咲く町で』(Fナ)
夏川 草介／著 KADOKAWA

*『世界が僕らを嫌っても』(Fカ)
片山 恭一／著 河出書房新社

*『別れの季節』(Fモ)
諸田 玲子／著 新潮社

喜多方再発見

～喜多方が出てくる本～

ちょっとだけ?

おいしい喜多方

意外な喜多方



喜多方市立図書館所蔵の本の中から、喜多方が出てくる本を紹介いたします。喜多方や、喜多方の人物、お店・・・ちょっとだけの登場かもしれませんがどんな内容かは読んでのお楽しみ。本の中から喜多方を見つけてみませんか？



★辛辣?でも笑っちゃう 観光

『ニッポン47都道府県正直観光案内』宮田 珠己／著 本の雑誌社 (291ミ)

日本全国47都道府県のおすすめ観光スポットを正直に紹介するガイドブックエッセイです。日本の観光地がユーモアたっぷりに紹介されていますが喜多方にかんしても、かな～り正直な感想が書かれています。外から見た喜多方はもしかしたら面白いのかも？

★誇れる喜多方の手仕事 伝統工芸

『百年後の日本に残しておきたい和の手仕事』安田 多賀子／著 宮帯出版社 (L750ヤ)

全国津々浦々、百年後の日本に残しておきたい和の手仕事が48紹介されています。もちろん喜多方の伝統工芸も。その土地の気候や風土が生み出した手仕事ですが、それをささえるのはやはり人。そのプライドや仕事ぶりを垣間見ることができる本です。



★東北を食べつくす! 会津を飲みつくす! 地酒

『おうちごはんは適宜でおいしい』菅野 彰／著 徳間書店 (L596ス)

お取り寄せした東北の食材と会津の地酒を、作家の菅野彰さんが堪能するグルメエッセイです。菅野さんが新鮮な東北の食材で作るお料理はどれもおいしそう。喜多方の地酒や喜多方の居酒屋さんも登場します。読んでいるだけで、お腹がすいてくるそんな一冊です。

～その他～

『につぼん全国百年食堂』椎名 誠／著 講談社 (596シ)

『宇和島の鯛めしは生卵入りだった』太田 和彦／著 毎日新聞社 (L291オ)

図書館のつぶやき

令和となって初めてのお正月を迎えます。市民の方の中には、明治・大正・昭和・平成・令和の時代を歩んでこられた方もいらっしゃるのではないのでしょうか。図書館にも、昭和や平成にスポットを当てた本を多数所蔵しております。令和にいたるまでの歴史を振り返ってみるのはいかがでしょうか。市立図書館では、10月1日より、フリーWi-Fiサービスを開始いたしました。利用できるスペースは、2階のみとなっております。指定の場所以外でのご利用はご遠慮くださいますようお願いいたします。また、パスワードも定期的に変更になりますのでご了承ください。令和2年もどうぞよろしくお願い申し上げます。(館長)

【編集後記】

年末になると、高校時代の国語の先生が新書『ゾウの時間ネズミの時間』について話していたのを思い出します。ゾウの寿命とネズミの寿命は全く違うけれど、その生涯に脈打つ心拍数は平等に15億回と決められているそうです。「でも、マラソンをやっている人は健康で長生きな人が多い気がするなあ…」などと当時は穿った見方をしていましたが、社会人になって思い出すたびに、自分はどんな心拍数に憧れて、実際はどんな風に生きているかなど考えるようになりました。ゆっくり穏やかに流れるゾウの時間、せかせかとめまぐるしく流れるネズミの時間、今年は何んな時間でしたか？ちなみに、この本は図書館にも所蔵していますので是非ご覧下さい。子ども向けのものもありますよ！(Y・A)